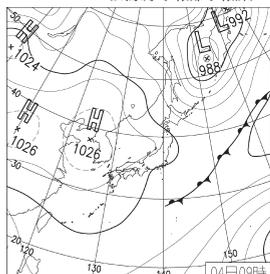


日々の天気図

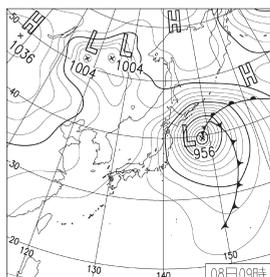
— No. 165

2015年10月

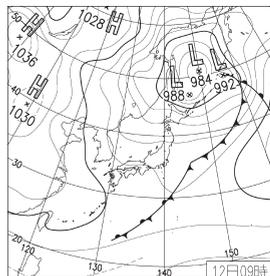
- ・1～2日、日本海で低気圧が発達、946hPaに、北日本中心に大荒れ。
- ・8～9日、北海道は再び大荒れ。
- ・9日、オゾンホール面積10月最大。
- ・18日、台風第24号フィロン上陸。
- ・24日、史上最強級ハリケーン「パトリシア」メキシコ太平洋岸上陸。
- ・西日本は月間日照時間多く記録的。(気象庁予報部予報課)



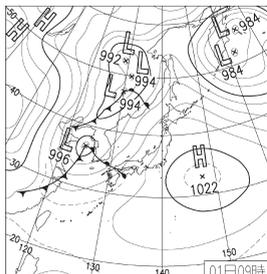
4日(日) 南北で天気の差大きく
西日本や東海・関東は高気圧に覆われて晴れ。上空に寒気が流入した北陸や北日本は雨や曇り。北海道上川の最高気温は9.3℃と北海道で今季初の10℃未満。



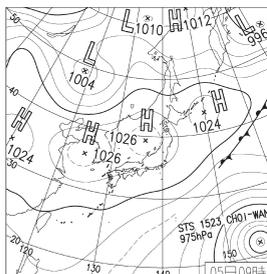
8日(木) 北海道は大荒れ
台風第23号が温帯低気圧化。北日本を中心に風雨強く北海道は釧路で最大風速25 m/s、根室で最大瞬間風速38 m/s。紋別で観測史上1位の日降水量192 mm、根室で大潮。



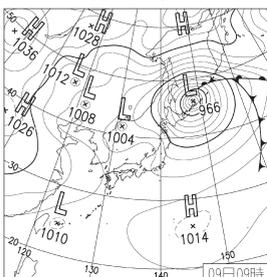
12日(月) 立山でも初冠雪
寒気が入り西～東日本の日本海側や北日本では所々で雨。西～東日本の太平洋側は晴れや曇り。北海道は低気圧の影響で風が強く大けとなり宗谷岬で最大瞬間風速31.9 m/s。



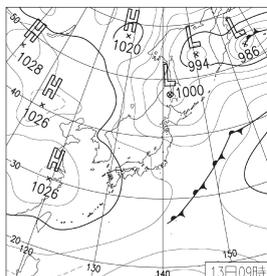
1日(木) 低気圧、急速に発達
低気圧に伴う雨雲が西～北日本へ広がって北日本を中心に大荒れ。長崎県では頭ヶ島76.5 mm/1h、厳原55.5 mm/1hの雨。富山県泊32.6 m/s、北海道釧路31.2 m/sの最大瞬間風速。



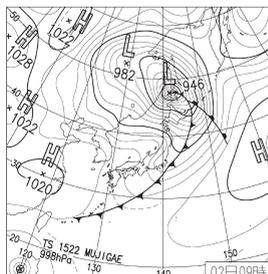
5日(月) 太平洋側を中心に曇り
日本海の高気圧に緩やかに覆われたが、太平洋側は気圧の谷の影響を受け、北東気流が流入した関東を中心に曇り。松山市と岐阜市でモズの初鳴。台風第22号は熱帯低気圧に。



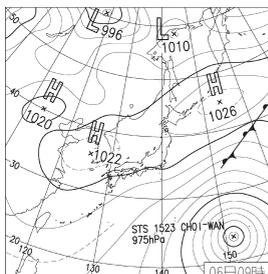
9日(金) 低気圧の影響が続く
沖縄は気圧の谷による雨。高気圧に覆われた西～東日本は晴れ。低気圧が停滞し北日本は風が強く雨や曇り。北海道えりも岬で最大瞬間風速36.4 m/s、北海道雌阿寒岳で初冠雪。



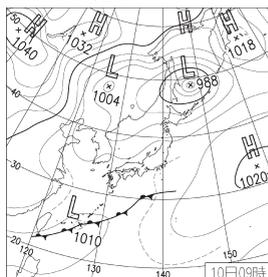
13日(火) 北海道で初雪
北陸～北日本の日本海側は大陸からの寒気により雨。北海道の旭川で初雪、手稲山で初冠雪。その他の地方は高気圧に覆われ日照多い。台風第24号がフィリピンの東で発生。



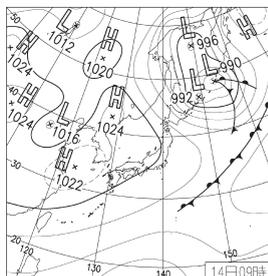
2日(金) 低気圧、記録的発達
西～東日本では天気が回復したが、日本海で低気圧が記録的発達をした影響で北日本は引き続き大荒れ。北海道本泊で最大風速32.6 m/s、最大瞬間風速43.7 m/s、台風第23号発生。



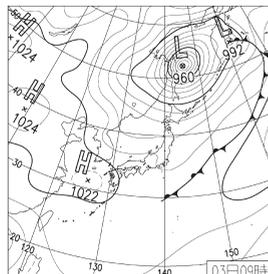
6日(火) 秋晴れ
帯状の高気圧に覆われて全国的に晴れ。西日本と北日本は内陸を中心に放射冷却のため冷え込み、北海道の所々で冬どまりとなり帯広では今季全国初の初霜を観測。



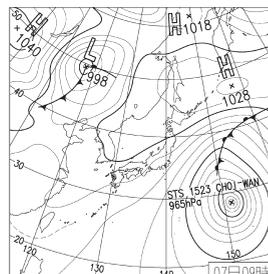
10日(土) 列島の南北に低気圧
日本の南を東西にのびる前線が北上。沖縄・奄美は雨。西～東日本で曇りや雨。低気圧の影響で、北海道天塩で最大瞬間風速30.4 m/s、北海道えりも岬で最大瞬間風速27.1 m/s。



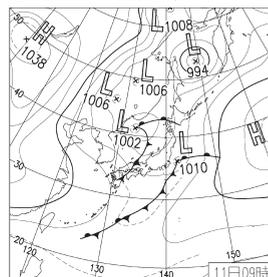
14日(水) 朝冷え込む
全国的に晴れて朝は10月下旬～11月中旬並の冷え込み、北海道を中心に42地点で冬どまり。石川県白山、青森県岩木山・八甲田山などで初冠雪。台風第25号がマーシャル諸島で発生。



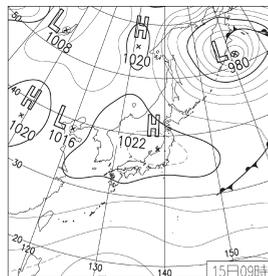
3日(土) 東北北部で雷雨
上空の寒気の影響で東北北部では強い雨、一部で雷雨。北海道の一部で雨や曇り。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道浦河で最大瞬間風速31.6 m/s。



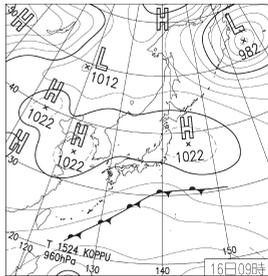
7日(水) 台風、日本の東を北上
台風第23号が日本の東を北上。関東～北日本の太平洋沿岸では曇りで強風となった所もあるが、高気圧に覆われ広く晴れて最低気温は全国的に低く10月中旬並の所多い。



11日(日) 富士山で初冠雪
前線と低気圧に伴う雨雲が全国に広がったが、大陸から高気圧が張り出し西日本から次第に晴れた。北海道天塩で最大瞬間風速30.4 m/s。富士山は平年より11日遅い初冠雪。

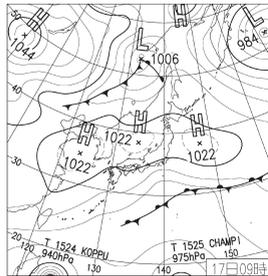


15日(木) 釧路で初氷
日本付近は動きの遅い高気圧に広く覆われ全国的に晴れ。西～東日本で風弱い。本州内陸や北日本で冷え込み釧路で全国初の初氷。函館、釧路、旭川で初霜。北海道斜里岳で初冠雪。



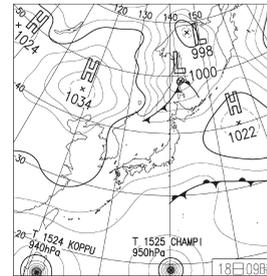
16日(金)帯状高気圧

沖縄と関東は前線や気圧の谷の影響により曇りや雨。その他の地方は帯状の高気圧に覆われて晴れ。北日本は内陸を中心に冷え込み、北海道では札幌など3地点で初氷を観測。



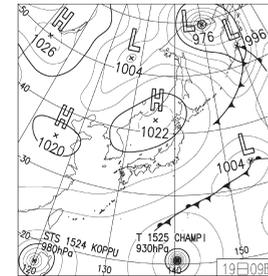
17日(土)関東で曇りや雨

高気圧に覆われ広く晴れたが、関東は湿った空気が入り曇りや雨。東海、近畿では雨の降った所も。関東は最低気温が平年より高く最高気温は平年より低くなった。鳥取県で震度4。



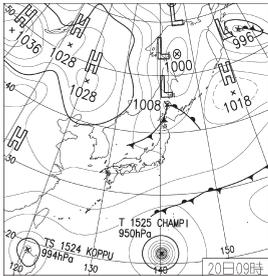
18日(日)鳥取県で震度4相次ぐ

西日本～東北は概ね晴れ。北海道は寒冷前線の影響で雨や曇りだが、太平洋側では晴れ間も。日中の最高気温は全国的に平年より高く、札幌では平年より6.5℃高く9月中旬並み。



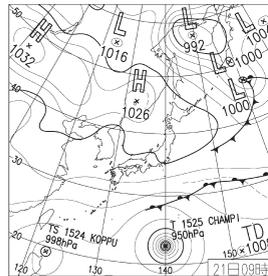
19日(月)鳥取地震続く

日本海の高気圧に覆われ全国的に概ね晴れたが、沖縄・奄美は、台風第24号などの湿った気流の影響により所々で雨。鳥取県では震度3を2回観測。



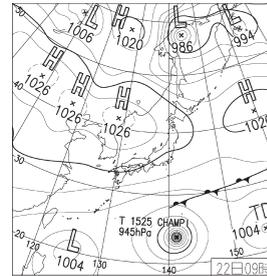
20日(火)寒冷前線通過

沖縄・奄美は湿った気流により曇り。西～東日本は高気圧に緩やかに覆われて晴れ。北日本は低気圧や寒冷前線により雨や曇りとなり北海道日本海側の最高気温は11月上旬並。



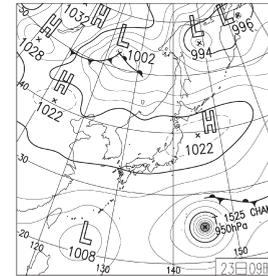
21日(水)福島などで地震

沖縄・奄美は台風や湿った気流の影響により雨。その他の地方は移動性高気圧に覆われて概ね晴れ。栃木、茨城、福島、宮城各県で震度4。台風第24号は熱帯低気圧に。



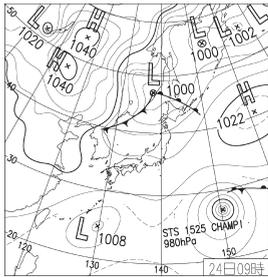
22日(木)台風第25号、父島接近

沖縄・奄美は低気圧の影響で曇りや雨。九州～北海道は高気圧に覆われ、山陰や北陸で雲が多かった以外は晴れ。北海道天塩の最低気温-5.2℃で10月の1位更新。



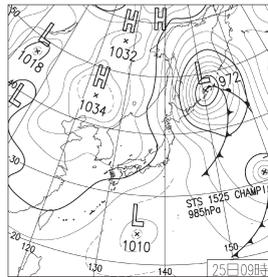
23日(金)北日本で冷え込む

北日本～西日本は広く高気圧に覆われ晴れたが北日本では最低気温が12月上旬並の所も。沖縄・奄美は低気圧の影響で曇りや雨。青森、盛岡で初霜、初氷。



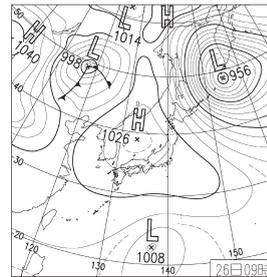
24日(土)東京で木枯らし1号

西～東日本は晴れ。沖縄と北日本はともに低気圧による雨。沖縄県北大東で10月の1位を更新する57 mm/1hの非常に激しい雨。北海道えりも岬で最大瞬間風速32 m/s。



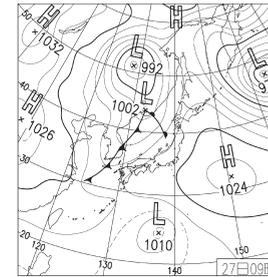
25日(日)近畿でも木枯らし1号

西高東低の気圧配置となり、北日本中心に風が強く北海道えりも岬で最大瞬間風速37.1 m/s。札幌、室蘭、稚内、釧路、帯広で初雪。台風第25号が温帯低気圧化。



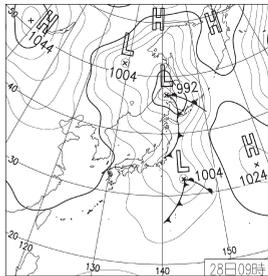
26日(月)アフガニスタンで地震

高気圧が通過し全国的に晴れ。西～東日本と北海道は内陸を中心に冷え込み、北海道白糠の最低気温-6.4℃は10月の1位。アフガニスタンでMw7.5の地震。



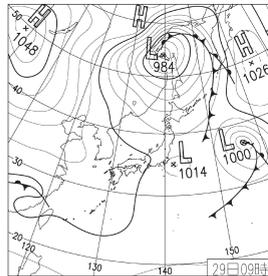
27日(火)西から下り坂

高気圧が東に抜け寒冷前線が西から接近し九州から次第に雨雲広がる。日中は沖縄・奄美や近畿～東北は晴れたが、夜には西日本～北日本で広く雨。網走で初霜、初氷。



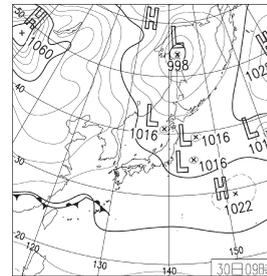
28日(水)関東で夏日

冬型の気圧配置となり、北陸～北日本の日本海側で雨。太平洋側では晴れ。関東では気温上昇し9月中旬並となり、夏日の地点多い。青森市でイチョウ黄葉。



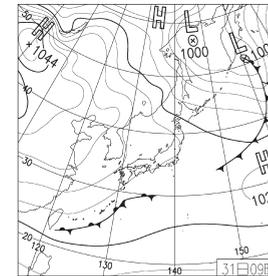
29日(木)北日本に寒気流入

西日本は高気圧に覆われて晴れ。北東からの冷たい気流が流入した関東は曇りや雨。上空に寒気が流入した北日本は雨。札幌市でヤマモミジ紅葉。北海道層雲峡で積雪1 cm。



30日(金)北海道で冷え込む

沖縄・奄美と九州は東シナ海の停滞前線の影響で曇りや雨。寒気の流れ込みにより北陸と北日本日本海側で曇りや雨となり、北海道では冬日71地点と気温低く平地でも雪やみぞれ。



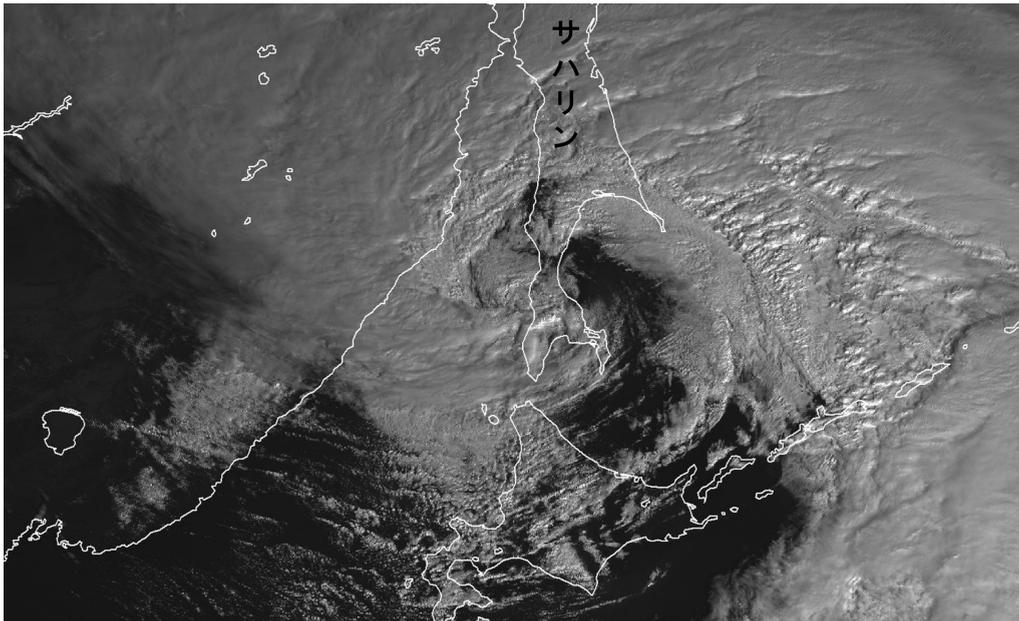
31日(土)紅葉が本州に南下

沖縄・奄美は前線の近傍で雨。西日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。東～北日本は寒気や湿った気流の影響で、日本海側を中心に曇りや雨や雪の所も。青森市でイロハカエデ紅葉。



今月のひまわり画像—2015年10月

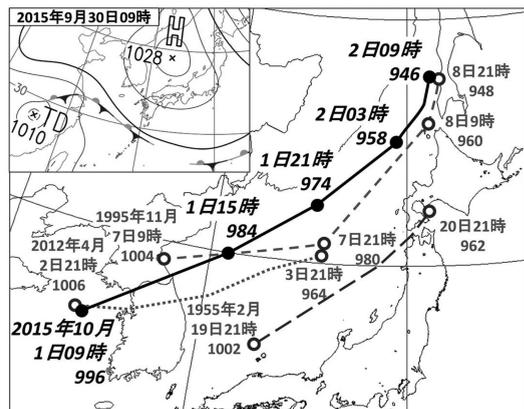
日本海で最も中心気圧が下がった低気圧



第1図 2015年10月2日09時（日本時間）のサハリン付近における可視画像（低気圧の中心位置については第2図参照）。

第1図は2015年10月2日09時（日本時間）のサハリン付近の可視画像で、発達した低気圧（以下、本低気圧）に伴う渦が見える。第2図に本低気圧と、1951年以降日本海で中心気圧が24時間に40 hPa以上下降し、かつ970 hPa未滿まで発達した3つの低気圧の経路と中心気圧を示した。第1図に示した2日09時の本低気圧の中心気圧は946 hPaで、1951年以降日本海における低気圧としては最も低くなった（これまでは1995年11月8日21時の948 hPa（第2図））。また本低気圧は同時刻までの24時間に中心気圧が50 hPaも下降し、日本海における低気圧としては上述の1995年11月8日の44 hPaを上回る発達となった。本低気圧は9月30日21時に前線に発生したが、同日15時までは前線の南側に台風第21号から変わった熱帯低気圧が存在していた（第2図左上図参照）。本低気圧の急速な発達には、この台風第21号が持ち込んだ暖湿気も一因になっていると考えられる。

2日朝、本低気圧により北海道の利尻空港では最大風速32.6 m/s、最大瞬間風速43.7 m/sの南西の風を観測した。釧路では最大風速28.5 m/sが極値更新（統計開始1910年）となるなど北日本を中心に暴風と



第2図 1951年以降、日本海で24時間に中心気圧が40 hPa以上下降し、970 hPa未滿まで発達した4つの低気圧の経路と中心気圧（hPa）。左上は2015年9月30日09時の地上天気図。

なり、住家の損壊などの被害や交通機関への影響が出た。
（気象庁予報部予報課 原 基）